

ぴあ映画
初日満足度1位
(11月3日ぴあ調べ)

文部科学省
特別選定映画

厚生労働省
推薦映画

福祉の映画
上映会&講演会

認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私

ぼけますから、



よろしくお願ひします。

ドキュメンタリー映画

令和7年

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

11月9日(日) 開演 13:30 (開場 13:00)

入場無料

手話・要約筆記
優先席あり

場所

下呂交流会館アクティブ

泉ホール

定員

600 名 (申込み不要・自由席)



特別講演!



● 講師に聞いてみたいこと
左のフォームより入力し送信ください

ひとり娘

監督・撮影・語り

信友直子

主催：下呂市地域包括支援センター / 社会福祉法人 下呂市社会福祉協議会

この上映会&講演会は、皆さまから寄せられた支えあいの気持ち「赤い羽根共同募金」を財源に開催します。



カマを向け 初めて気づいた。 両親がお互いを 思い合っているということ。

**母、87歳、認知症。
父、95歳、初めての家事。**

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めめめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

**大反響のテレビドキュメンタリー、
待望の映画化。**

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



港町呉は坂の多い町でもあります。買い物するにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。

ひとり娘
ドキュメンタリー監督
信友直子



1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。



涙。椅子から立てないくらいの衝撃でした。(56歳女性)

いまだに涙がとまりません。思いやりが人生を豊かにすること。忘れずに生きていきたいです。(49歳女性)

まるでお家にお邪魔しているように。心がキューっと苦しくなったり、ぼっ、と心が温かくなったり。(29歳女性)

お三方の声のなんと優しいこと。こんな優しさに満ちた声の響きを聞いたことはありませんでした。(74歳男性)

映画にいただいた感想の一部です

考えさせられます。夫婦とは家族とは老いるとは…娘さんの泣きながらの撮影にもう泣きました。(55歳女性)



ドキュメンタリー映画

ばけますから、よろしくお願いします。



当日の
タイムスケジュール

映画上映会

約100分

「ばけますから、
よろしくお願いします。」

休憩

特別講演

約45分

ひとり娘 ドキュメンタリー監督
信友 直子氏

質問タイム

終了予定

16:30

※2階ホワイエにて、認知症に関する展示等があります。ぜひ、ご覧ください。

※会場は駐車スペースが限られます。お早めのご来場と、お車の乗り合わせをお願いいたします。

【問合せ】下呂市地域包括支援センター

Tel 0576-53-2100

※平日 8:30~17:15